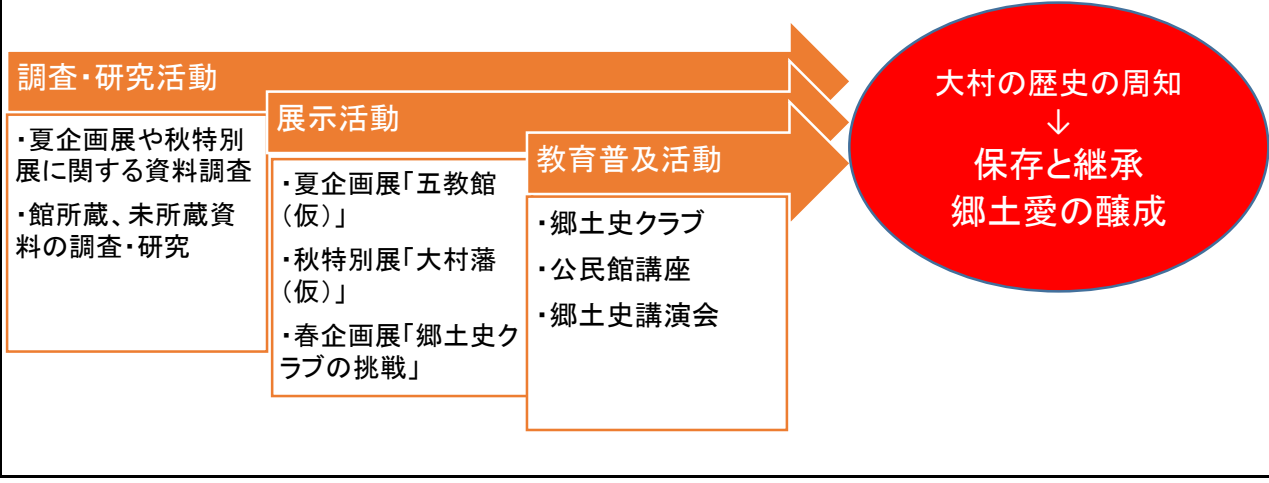
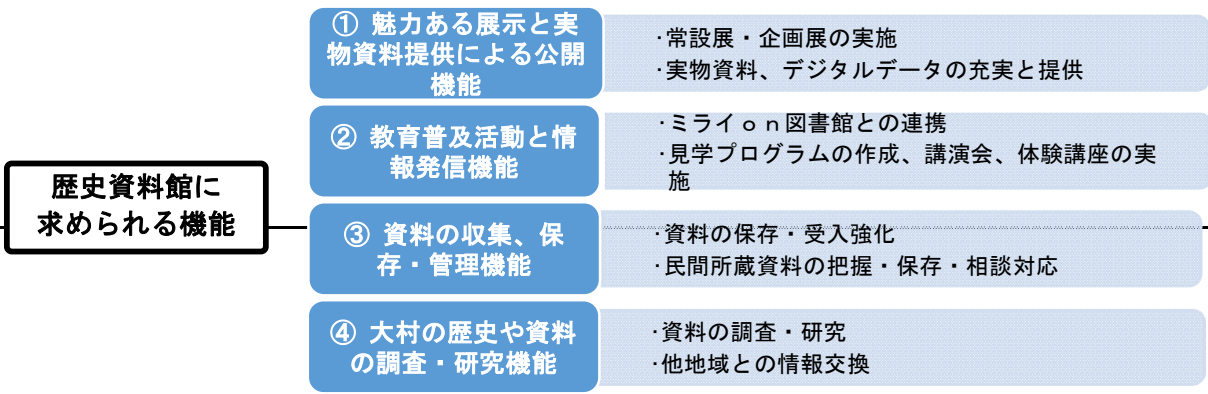


# 事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継承	<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	歴史資料館管理運営事業	現状維持	予算額 21,044 千円 << 19,961 >>千円
事業期間	昭和48年 ~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 478 千円 一般財源 20,566 千円
根拠法令要綱等	博物館法 大村市歴史資料館条例		

**【事業の目的・概要・対象】**

市民などに大村の歴史に関する歴史学習や研究の機会を提供する。  
 大村の歴史に関する貴重な歴史資料を収集、保存・管理し、その重要性を市民に周知するため、さまざまな情報を発信する。  
 大村の歴史の普及や研究のため、大村に関する歴史資料を寄贈、寄託、購入などの方法により体系的に収集し、これを保管・管理する。館ではこれらの歴史資料を活用し、展示や講座等の教育普及活動を通じて地域の歴史の情報発信する。



**【背景】**

地方創生、郷土愛の醸成が求められる中、地域の歴史の保存継承、情報発信は重要となっている。  
 歴史資料館が、その拠点として機能し、市民に周知してもらうためにも、より一層の資料の保存、展示、教育普及活動の強化に取り組んでいく必要がある。特に展示活動では、来館者から新たな資料や情報を得ることが多いため、継続して実施する必要がある。

担当課	教育委員会文化振興課（歴史資料館）	課長	今村 明
担当者	山下 和秀	問合せ先	0957-48-5050

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	開館日数	日	283	285	285	285	285
②							

### 【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	入館者数	人	27771	40000	45000	50000	50000
②							

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	19,109	19,390	19,961	21,044	21,364	21,364	122,232
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	949	282	470	478	478	478	3,135
一般財源	18,160	19,108	19,491	20,566	20,886	20,886	119,097
人件費	21,842	21,269	21,813	21,813	21,813	21,813	130,362
職員(人)	2.67人	2.57人	2.62人	2.62人	2.62人	2.62人	15.72人
時間外勤務(h)	1213h	1290h	1380h	1380h	1380h	1380h	8023h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	40,951	40,659	41,774	42,857	43,177	43,177	252,594

妥当性 (市の関与)	市の施設の維持管理であり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	歴史資料館は、ミライon図書館とともに、地域学習の拠点であり、展示、教育普及活動は、文化財の保護や地域の歴史情報の発信・理解に極めて有効である。
効率性 (コスト)	年間を通じて、展示会等の情報発信に関する費用を自前で行っていることもあり、全体的に予算は不足気味である。

1次評価	歴史資料館の活動は、地域の拠点として、歴史・文化の保護・活用・継承に必要であり、継続すべきである。
2次評価	一次評価のとおり